

学校だより

大津市立葛川小・中学校

平成26年11月号

近畿へき地教育研究大会 成功裏に終わる

11月14日(金)、第29回近畿へき地教育研究大会の分科会が本校で行われました。近畿各府県からの参加者36名を含む総勢68名の方々に、授業を見て頂き、その後の研究協議に参加頂きました。お忙しい中、誠にありがとうございました。



この近畿大会は、6年に一度、滋賀県に順番が回ってきます。本年度は、本校を含む4校が分科会会場に指定され、研究発表に臨みました。

話は少し堅くなりますが、本校では次のような研究主題を掲げ、取り組んできました。

『子どもたちが楽しく学び合うための、小中学校の一貫的な教育のあり方』～児童生徒の連続的な学びと伝え合う力の育成をはかるために～

本校児童・生徒の特性や課題から、「受け身的にならず自分の考えを持つ」、「友達同士の関わりを通して、学びを深める」、「自分の考えと比べながら聴いたり、相手を意識して伝わるように話したり表現したりする」などができるようになってほしいと願い、この研究を進めてきました。

研究を推進していく中で、「子どもたちのために研究を進めよう。けっして、研究のための研究にならないようにしよう。」を合い言葉としてきました。大会参加者からは、次のような感想や助言を頂きました。

- ① 子どもたちが大変落ち着き、自然体であったなと思いました。先生方と子どもたちの信頼関係が出来ているんだと思いました。
- ② 教室の後ろにグループが集まれる机があり、グループ学習や話し合いがしやすい工夫があった。
- ③ 少人数の児童生徒にいかにか社会性や自立性を育成するかが課題で、今後も継続して取組まれたい。小中一貫教育は、今後の教育の流れである。カリキュラムや育てる力等を小中で共有して取組んで頂き、モデル校になってください。

自分にあった歯みがきの仕方は…?

11月6日(木)に全校児童を対象にした口腔疾患指導で、歯医者さんと歯科衛生士さんから「自分の歯並びにあった歯みがきの方法」を教えてくださいました。

この事業は大津市歯科医師会、歯科衛生士会の協力を得て大津市教育委員会が実施しているもので、毎年大津市内の数校がこの事業を受けられるのですが、本校ではへき地教育の推進として毎年実施していただいています。当日は歯医者さん4名と歯科衛生士さん5名が来校してくださり、ひとりひとりていねいに歯並びの様子や歯みがきのコツなどを教えてもらいました。指導が終わったあとの「先生歯がツルツルになったよ!」と喜ぶ声が印象的でした。見せてもらおうと見た目もツルツルで歯の表面が光っていました。

やきいもほっかほか



今年も葛川学区老人クラブ「寿会」の協力を得て、サツマイモの苗植え、収穫、やきいもを保育園児と小学1・2年生が取り組みました。プール横の畑には、学年ごとに、ミニトマト、キュウリ、ひょうたん、サツマイモ等を育てています。寿会の方たちとサツマイモの苗を植えたのは、5月15日でした。根がしっかり張るように願いつつ、しばらく、じょうろで水やりをしました。葉は日差しを受けどんどん成長し、夏休み前には、地面を覆いつくすように広がっていきました。ところが、お盆の少し前ごろに、隙間なく青々と伸びていた葉が、引き抜かれたり、地面が見えているところがあることを発見!そうです。サルにやられたのです。畑の周りはネットで覆っていますが、どこか隙間を見つけて侵入されたようです。そのことを知って、いも掘り



りをした10月29日には、寿会から追加の芋をいただき、収穫できたサツマイモと一緒に11月4日にやきいもをして食べました。

自分たちで育てたサツマイモだけあって、その味は格別でした。育てる楽しさと食べる喜びが体験できました。

